

UCSF 留学報告

東 南 辰 幸

アメリカ西海岸のカリフォルニア州にあるカリフォルニア大学・サンフランシスコ校 (UCSF) に平成21年5月から11月までの6ヶ月間、留学をさせて頂きました。

留学のきっかけに関しては人それぞれかと思いますが、私の場合、RSNA (2007) に参加した際に私の発表を UCSF の Dr. Qayyum に見にきて頂いた事がサンフランシスコ留学の大きなきっかけとなりました。（詳細は2008年の連登源に岩本先生が報告：RSNA 2007）

今、思うと決して留学の話がとんとん拍子に進んだ訳ではなく、留学への思いが募る一方で、当時、医局長業務をこなす傍ら、先方との“やり取り”がうまく行かず、一時は諦めようかと真剣に思ったこともありました。しかし、このどんよりとした空気を払拭してくれたのがサンフランシスコで開かれた第59回 American association for the study of liver diseases (AASLD) に参加できることが決定し、憧れの UCSF を訪問することができた事でした。（詳細は2009年の連登源に報告：AASLD 2008に参加して）半ば、こちらから無理矢理、押しかけたようなものではありましたが、快くこちらの意向を聞いて頂き、熱意（？）を感じとて頂いたのかどうかはわかりませんが、留学することが決定いたしました。

UCSF では、腹部画像診断部の liver group に所属し、Associate professor である Dr. Qayyum にいろいろと指導して頂きました。また、conference や研究会等に



UCSF medical center (全貌)



UCSF medical center (正面玄関)

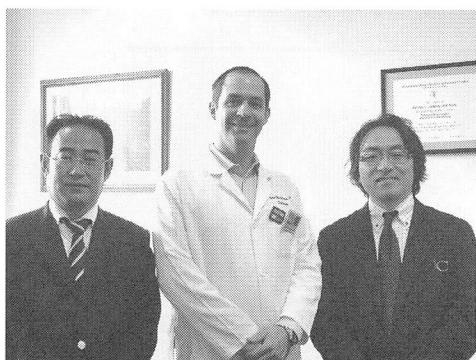
積極的に参加したり（表1）、また、読影室ではResidentと一緒に画像を見たりと、主にUCSF medical centerで研修を行っていましたが、UCSFの関連施設（MT. Zion, China Basin, Mission Bay）では前立腺や肝臓のMR spectroscopyに関する臨床・研究が行われており、特に肝臓のMR spectroscopyが行われているChina Basinには頻繁に通い、勉強させて頂きました。また、金曜日に行われるliver groupのresearch meetingではびまん性肝疾患に関する様々な研究報告が行われ、Dr. Qayyumを筆頭に様々な分野の研究者達と熱い検討がなされ、liver groupの一員として、すばらしい経験をさせて頂きました。もっと、会話能力があれば、この人達といろんな話ができ、もっと多くの事を学べるのにと、私の貧しい英語力を悔やむ日々であった事は言うまでもありません。

また、私のもうひとつの目的は今まで行っていた研究データをDr. Qayyumの指導

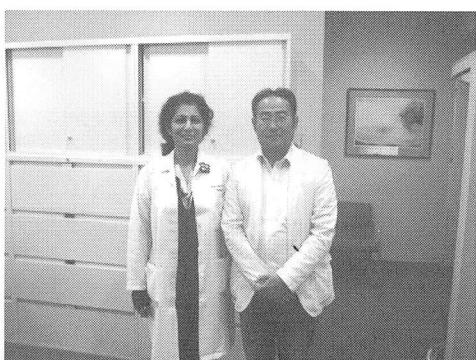
表1

Weekly schedule (Conference and Meeting)

Monday	GI conf. 17:00～
Tuesday	Gyn conf. 12:00～ Liver conf. 17:00～
Wednesday	Uro conf. 8:00～
Thursday	Resident conf. 8:00～
Friday	Abdominal imaging (Research meeting) 7:45～



AASLD 2008参加した際に藤本先生と
UCSF訪問（かなり緊張しました。）
中央がDr. Westphalen



SupervisorであるDr. Qayyum (UCSF,
associate professor)と秘書室にて

の元、すべて論文化することであり、短期間ではありましたが、一応、目途は付いた(?)と実感しています。さらに、Dr. Qayyum から彼女の仕事の一端を任せて頂き、大変ではありました。その原稿執筆を通して知識の無さを実感させられましたし、多くの事を学ぶことができました（表 2）。

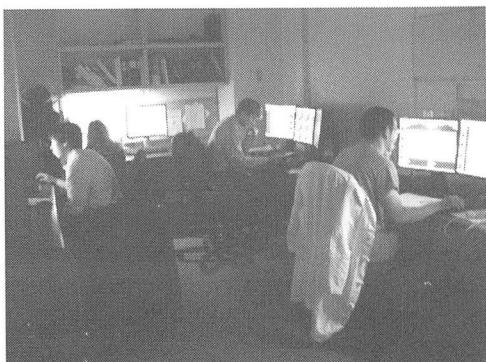
また、留学期間中、なんと言っても頼りになるのが友人であり、留学当初、何も知らない私にとって、いろいろと手助けしてくれたのが Dr. Westphalen (UCSF, assistant professor) や同時期に短期留学をしていた Dr. Muglia (Sao Paulo University, associate professor) でした。彼らとは年齢が近いこともあって、すぐにうち解けあい、私生活においても楽しい思い出を作ることができました。

また、一方、今回の留学を通して、家族とゆっくり時間を過ごせたのも事実であり、週末には近隣の町 (Napa valley, winery) や山 (ヨセミテ渓谷、ラッセン火山など) や海 (サンタクルーズ、モントレイなど) へ車で出かけ、安価なモーテルに宿泊し、

表 2

研究内容

-
1. Correlation of Kupffer cell function and hepatocyte function in chronic viral hepatitis evaluated with SPIO-MRI and Tc-GSA scintigraphy.
 2. Quantification of hepatic iron overload: Usefulness of echo-planar imaging based on diffusion-weighted MRI.
 3. Expression of CD14 receptor and phagocytic dysfunction of Kupffer cells in nonalcoholic steatohepatitis: Correlation between SPIO-enhanced MRI and pathological findings.
 4. Quantitative analyses for diffusion-weighted and SPIO-enhanced MRI in patients with chronic hepatitis C: Correlation with pathologic fibrosis and inflammatory scores and clinical severity.
 5. Chronic hepatitis and cirrhosis on MRI
(Review, MRI clinics of North America)
-



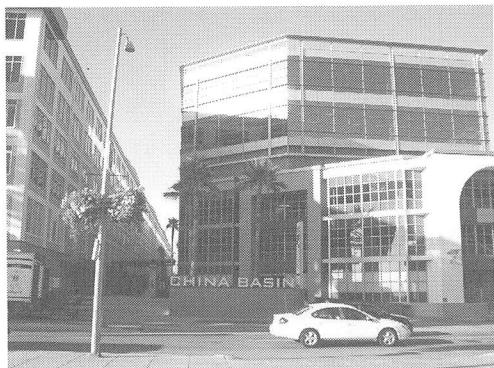
腹部画像診断読影室 (CT/MRI)



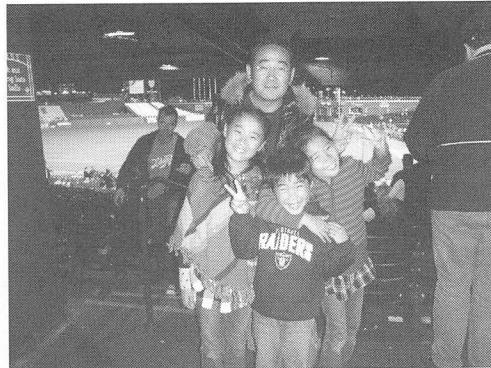
研究会

アメリカの自然や文化に触れる事ができました。また、3人の子供達にとっても、現地の公立小学校に通う事ができ、いろんな人種の子供達と触れ合う中で、様々な文化・慣習を体験できた事と思います。もちろん、英語は全くしゃべれませんが、毎日、楽しそうに学校に行く姿を見て、たくましく思える程でした。(正直、留学当初、私自身、辛いこともありましたが、子供達の姿に励まされる事多かったです。)

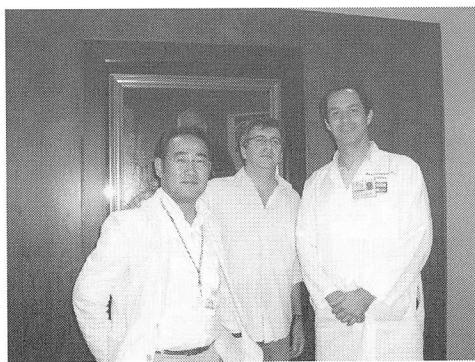
また、UCSFへ留学されている多くの日本人の先生方(医師、その他)とも知り合うことができましたし、また、当科、藤本先生をはじめ岩本・藤本奈・寺崎(外科)先生や学生時代の友人など学会でサンフランシスコに来られた際、我が家へ立ち寄って頂いたことも楽しい思い出となりました。



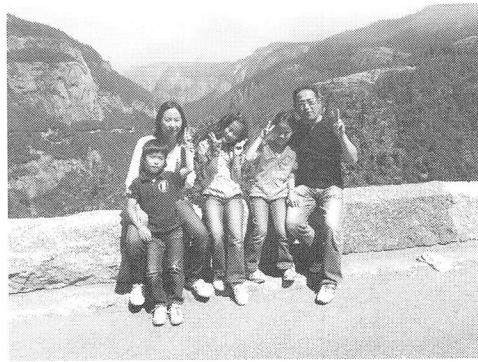
UCSF の関連施設である China Basin



China Basin に隣接する AT & T park
(サンフランシスコ・ジャイアンツのホー
ムグランド) 子供達と野球観戦!



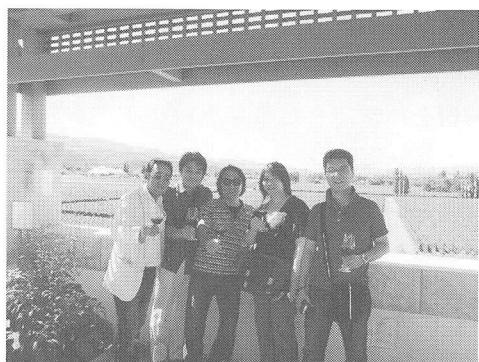
中央が Dr. Muglia (Sao Paulo University, associate professor)
右が Dr. Westphalen (UCSF, assistant professor) 彼等にはいろいろとお世話になりました。



世界遺産であるヨセミテ国立公園に家族旅行
サンフランシスコから東へ約200マイル、車
で壮大な景色をみながらの楽しい旅行でした。



日本から UCSF へ留学されていた先生方家族との食事会



Napa valley, Opus one (winery) にて
中央が藤本先生、中央左が岩本先生、
中央右が藤本奈先生、右が寺崎先生(外科)



Happy Halloween!!
Richard, Nancy (大家さん夫妻) と家族皆で
はじめてのジャコランタン(jack-o'-lantern)作り。
たくさんの思い出ができました。

まだまだ、多くのすばらしい出会いや楽しい思い出、また、それと同じくらいの大変な事やトラブル（留学当初のインフルエンザ騒動では、急きょタミフル、リレンザ、マスクを大量に送っていただいたおかげで助かりました。藤本先生、藤本奈先生ありがとうございました！）など、書ききれないほどありますが、家族ともども本当にすばらしい経験をさせて頂いたと実感しています。是非、若い先生方にはどんどんチャレンジして欲しいと思うと同時に、この留学報告が少しでも刺激になればと思います。

最後になりますが、このような貴重な機会を与えてくださいました早渕教授をはじめ、教室の先生方に心より感謝申し上げますと共に、留学の資金援助をいただきました久留米大学医学部、久留米大学放射線科同門会の諸先生方に深く感謝致します。